

原っ子だより

学校通信 第17号
令和4年3月18日発行
文責 校長 徳本ひとみ



祝卒業おめでとうございます～6年生の皆さんへ～

明日はいよいよ第71回原小学校の卒業式です。6年生20名にとってのこれまでの人生の中で、もっとも大きな節目と言っても過言ではないかもしれません。

皆さんは、学級目標「笑努協歩」を合い言葉に、どんな時も笑顔で努力し、協力して皆で歩んできました。卒業するにあたっての、皆さんの原小学校に対する思い、まわりに対する感謝の気持ちも、ボランティア掃除や卒業式の練習の時の真剣さからひしひしと伝わってきました。私達教職員も皆さんへの感謝の気持ちを込めて一人一人に「原っ子賞」を送りたいと思います。楽しみにして下さい。

また、地域の方々からも、皆さんの卒業に際し、電話でのお祝いメッセージやエール、お手紙が届いています。ここで、地域の方々のお言葉を一部紹介させていただきます。(一部抜粋)

ご卒業おめでとうございます。これまで以上にいろいろな人と出会うことでしょ。どんな出会いも無駄なものはありません。コミュニケーションツールの「挨拶」「会釈」のできる大人になって下さい。「なりたい自分」を目標に目標設定をして、フルチャレンジ精神で取り組んで下さい。(中略)これからはずっと味方です。だから・・・がんばれ！1年間、メッセンジャーとして原っ子だより等を届けて下さってありがとうございました。



桜満開の原小学校に入学して、原っ子として大きく成長し、桜の咲く頃の佳き日に栄えのご卒業を迎えられ、児童から生徒へと羽ばたくあなたに心からお喜びを申し上げます。中学に行かれても原っ子魂を誇りに希望を持ってたくましく勉学・部活・遊びに毎日を通じて困っている人がいたらすぐに駆けつける活躍を想像しております。(略)

地域が大好きです～原っ子6年生の取組～

かねてから6年生は、地域への方々への感謝の気持ちをいっぱい持っていたので、それを手紙や言葉でお伝えしてきました。また、阿賀まちづくり推進協議会(まちづくり若者提案事業)のご支援をいただき、呉高専の学生中川さんや岡田さんからのアドバイスを受けて作成してきた阿賀の情報誌「AGAZINE」も完成間近です。この作成に関わって大好きな原小学校界隈にインタビューに出かけましたが、多くの皆さんが温かく答えて下さり、これも6年生にとって小学校生活の大きな思い出になりました。



取材先に依頼のお電話をしています。



呉工業高等専門学校の中川さんのアドバイスを聞いて作成しています

阿賀まちづくり推進協議会の皆様、企画を推進し終始アドバイスやご支援を下さった呉工業高等専門学校の皆様、そして子ども達の取材を快く受けて下さった地域の皆様のおかげで子ども達は素晴らしい体験と達成感を味わうことができました。本当にありがとうございました。

地域へのあふれる思いを作文に表現！

6年生児童の地域へのあふれる思いを表すべく、「このまち思い エピソード」(中国新聞社主催、広島ガス協賛)という作文コンテストに、なんと全員で応募しました。「ひろしまのまちが大好きだと感じたエピソードを全員が600字以内で原稿用紙にまとめ応募したのです。どのエピソードも甲乙付けがたく、自分達のふるさとを思う気持ちが表れていました。

そして、全員が応募した作品の中から、森希さんの作品が広島県で最優秀賞に選ばれました。

地域への思いを英語で！

～ふるさと自慢「呉」スピーチ大会に出場～

「このまち思い エピソード」作文コンテストに応募した後、6年生は今度は地域への思いを英語で表現することにしました。ふるさと自慢「呉」スピーチ大会 English に6年生柳生文瑠君と森希さんが出場しました。出場にあたって原稿を作る際、2人は「このまち思いエピソード」に書かれていたみんなの言葉も参考にしました。また、みんなもスピーチの時に使う写真を選んでくれたり絵を書いてくれたり、原稿と一緒に考えてくれたりと、6年1組みんなで協力して2人の出場を後押ししました。そうして、柳生君と森さんは特別パフォーマンス賞という賞を受賞しました。帰国子女や特別に英語を習っている児童も出場している中での、2人の入賞ですから、すごい健闘ですね。2人のはかりしれない努力と、仲間のアイデアと協力、そして6年1組の地域が大好きという思いが結集して入賞した感動的なスピーチでした。

【スピーチの一部 英文】

Hello, everyone!
We are 6 graders of Hara Elementary School.
Today we are going to tell you about our favorite city, Kure. We are very proud of it.
(中略)
There are many other great things to introduce in Kure, but we want to emphasize this the most. People in Kure are very nice. I meet a lot of people on the way to school every morning, and I feel safe greeting with them. They smile at us, give us warm words, and tell us the time. Thanks to them we can go to school safely.



2人のために下須賀さんが描いてくれた絵です。

【日本語訳】

みなさん こんにちは 私達は原小学校の6年生です。協は私達の大好きな呉市についてお伝えしようと思います。(中略)呉には他にも紹介したいことがたくさんあります。しかし、私達はこのことを最も強調したいのです。呉の人々はとても素晴らしいです。私は毎朝登校の途中でたくさんの人(地域の方々)に出会い安心します。皆さんが私達に微笑み温かい言葉をかけて下さり、今の時間も教えて下さいます。この地域の方々のおかげで私達は安全に学校に通うことができます。

卒業してもいつまでもふるさとを思う心を忘れずにいたいと思います



一瞬だけマスクをはずしてポーズ！

卒業前の3月11日、6年生は地域のシンボル大空山へ登りました。感染症対策のため弁当を食べることはできませんでしたが、山頂から自分達の町を見下ろすことができました。1、2年生の時学校からよく行っていた大空山。また一つ小学校の思い出が増えました。

6年間本当にありがとうございました。
呉市立原小学校 6年生一同